

熱中症対策ガイドライン

根拠資料
(最新)

文部科学省「熱中症対策ガイドライン作成の手引き」令和6年(追補)
東京都教育委員会「熱中症対策ガイドライン」令和7年6月(追補)
昭島市教育委員会「熱中症事故の防止について(通知)」令和4年5月

令和7年6月 改訂版

昭島市立富士見丘小学校

校長 稲垣 達也

熱中症から命を守ろう

今年の夏も全国的に気温が高いことが見込まれています。児童の健康被害を防ぐため、学校と保護者の皆様等で共通認識を図りながら、熱中症事故防止に関して児童へ適切に指導すること、暑さ指数(WBGT)に基づいて活動実施を判断すること等が重要です。昨年4月から、「熱中症警戒アラート」より一段上の「熱中症特別警戒アラート」の運用が開始されています。ついては、本ガイドラインを下記の通り改訂します。

(1) 8時5分までは登校できません

本校の勤務時間は午前8時からです。教職員が不在の時間帯は、自然災害や不審者の侵入等に対して十分な対応ができません。勤務時間前は、極めて無防備な状態です。炎天下での「三密」及び「熱中症」を避けるためにも**8時5分以前に学校に到着することがないよう**家を出る時間等を調整してください。

(2) 引き続き「感染症」防止に留意します

感染症基本行動4箇条を継続します(密を避ける。正しい手洗い。消毒。健康観察。)。具体的には、本校ホームページの「感染症から守る」をご覧ください。city.akishima.ed.jp/~fujimi/08covtd/boushi/boushiTopR5.html

(3) 「熱中症」予防を徹底します

- 登下校時や校庭で遊ぶ時は**必ず帽子を着用**、水筒を持参(希望者)、こまめに**水分補給**をします。
- 登下校、体育の授業、休み時間等、運動するときは**マスクを外す**ようにします。

(4) 暑さ指数に基づき、教育活動を制限します(屋内外を問わず活動場所ごと)

<WBGT危険相当>(WBGT31~)

教育活動全般において**制限します**。原則、運動は中止です。

- 校庭での外遊びや体育等は、WBGT31℃未満の日陰等に限定します。
- 教員の管理下において適切な水分補給や休憩とともに、活動量を抑制します。

<熱中症警戒アラート相当>(WBGT33~)

教育活動全般における**制限を強化します**。(警戒アラートが発表された時点では、直ちに運動を中止する必要はありませんが、活動場所のWBGTを随時確認、健康観察、水分補給や休息の頻度を高め、活動内容や時間を短縮するなど厳に予防行動が必要です。)

- 外遊び、体育、学級活動等の運動、野外活動(観察等)は、すべて中止します。

<熱中症特別警戒アラート発表>(都内全域でWBGT35以上の予想)

特別警戒アラート発表時は、過去に例のない危険な暑さ等となり、人の健康に係る重大な被害が生じるおそれがあることから、児童・生徒の生命を第一に考え、原則として、校内外での教育活動について、中止又は延期とします。⇒ **原則として、臨時休校となります。事前にメール連絡します。**

追補

【参考】 2年前の(6/29)の熱中症指数と本校の対応状況

環境省のサイトでは、13時にWBGT31℃の予想(八王子)があったものの実際は30℃を下回りました。本校の実測でも29.4℃(校庭)でしたが、**体が暑さに慣れていない現状のため、昼休みは木陰での遊びに制限しました。**

場所	熱中症予防情報サイト			本校の実測						
	八王子市			プールサイド		昇降口		校庭	木陰	
時刻	12時	予想	13時	8時	11時	10時	13時	10時	13時	
気温	—	—	—	29.5℃	30.5℃	35.0℃	33.5℃	33.0℃	34.0℃	31.0℃
WBGT	30.6	31.0	29.8	26.8	28.8	30.6	29.0	27.9	29.4	26.5



遮光シートやテントで日陰を確保



暑さに負けず体力向上旬間実施中



WBGTに基づき校庭の木陰で遊び

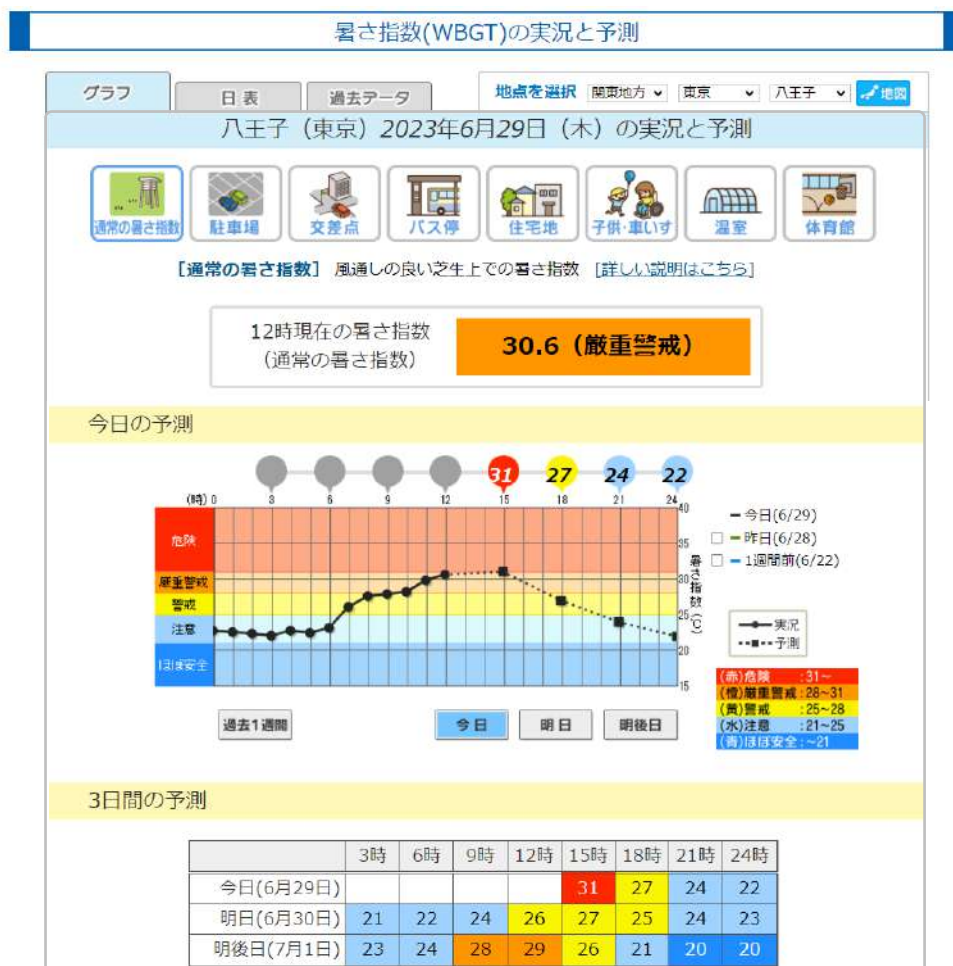
＜熱中症警戒アラート相当＞（WBGT33℃～）や＜熱中症特別警戒アラート＞（WBGT35℃～）は、下記の「熱中症予防運動指針」の基準をさらに上回る値です。年々、気温、暑さ指数ともに、大幅に上昇する傾向があり、今後も変化をとらえ、警戒が必要です。

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針（日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」より）	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	WBGT31℃以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さに慣れていない人は運動中止するようにする。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休息)	WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	WBGT21℃以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	WBGT21℃未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソン等ではこの条件でも熱中症が発生するので注意する。



熱中症予防情報サイト

https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php



本校の実測 6/29(13時)



熱中症は防止できる！ 暑さに負けない規則正しい生活を！

